

競 技 審 判 上 の 注 意

- 1 この大会は、兵庫県高等学校体育連盟バドミントン部が定めた大会要項および令和4年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程にしたがって行います。
- 2 シューズは、競技用と下足（体育館外用）をはっきり区別してください。
- 3 貴重品は、各自で責任をもって管理してください。
- 4 紛失・取り違い等を防止するため、各自の持ち物には必ず名前を記入してください。
- 5 会場の諸施設使用にあたっては、破損・汚損がないよう細心の注意をはらってください。
- 6 ゴミは、各自で持ち帰ってください。（会場やその周辺、最寄駅などに放置することのないように）
- 7 会場で連絡する「使用上の注意」は、遵守してください。
- 8 競技時の服装は、日本バドミントン協会大会運営規程 第23条の定めによります。（審査合格品を着用）なお、上衣の背面にゼッケン（校名・県名 横30cm×縦20cm、字はよく判別できる色とし、文字のサイズは6cmから10cmの間とすること）をつけてください。
- 9 試合の進行状況によって、試合時間・コートを変更することがありますので、館内放送には十分注意してください。
- 10 コール後5分を経てコートに入らない場合は、原則として棄権とみなします。
- 11 主審が認めた以外のタイムは一切認めません。
- 12 汗ふき用のタオル等は、主審側に置いた各自のバッグに入れてください。
- 13 次のような違反行為に対しては、厳正に対処します。（警告、フォルト、限度を越えた場合は失格）
 - ・体力や息切れの回復等のための遅延に関わる行為。
 - ・主審の許可なしにコートを離れる行為。
 - ・故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
 - ・審判員や観客に対し横柄な振舞いや下品で無礼な態度、言動。
 - ・ラケットや身体でネット等のコート施設を叩くとか、耳障りな掛け声や叫び声を発する等の競技規則を越えた不品行または不快な行動。
 - ・モバイル機器の使用
- 14 試合中のけがや病気の際、コートに入ることが許されるのは、通常医師などのほか必要と認められる競技役員に限られます。
- 15 「抗議」「異議」は一切認めません。審判の判定に疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に、該当選手に限り、質問することが認められます。
- 16 試合が連続する場合のインターバルは、10分とします。
- 17 各マッチ（試合）のインターバルは、次のとおりとします。
 - ・各ゲーム中に一方のスコアが11点になった時、「60秒を越えないインターバル」を与えます。（競技区域から離れることなく20秒前にはコートに入る）
 - ・各ゲームの間は、「120秒を越えないインターバル」を与えます。（20秒前にはコートに入る）
- 18 試合の優先順は、タイムテーブルのページを参照してください。
- 19 マッチ（試合）中、選手の水分補給を認めますが、主審の許可を得てください。
- 20 選手の変更は認めません。ダブルスのペアの変更も認めません。
- 21 監督・コーチ用のコーチングシートを2脚設けます。ただし、選手のチェンジエンズに合わせて移動してください。氷のうは、コーチングシートで保冷バッグなどに入れ、保管してください。
- 22 監督・コーチ・外部コーチは、IDカードを必ず着用すること。着用がない場合は、コーチングシートに入れません。外部コーチは、あらかじめ申請のあったものに限ります。
- 23 割当練習は9：10から行います。
- 24 審判は、原則として敗者審判制とします。敗者は、主審と得点表示係をおこなってください。
- 25 線審は、対戦校相互で行ってください。
- 26 準決勝・決勝は、本部役員が主審をする場合があります。
- 27 サービスジャッジは、原則としてつけません。